

## 編集後記

サッカーワールドカップ2022カタール大会が盛りあがっているなかでこの編集後記を書いています。日本代表は残念ながらベスト16で敗退でしたが、4年周期で俄かサッカーファンになる私のような素人目に見ても素晴らしい試合ばかりで大変刺激を受けました。そんな私が小学生の息子とサッカーニュースを見ながら「日本代表も4年前に比べて強くなってきたなあ。」と感想を漏らすと、息子がじっと私の4年かけて一段と成長したお腹周りを眺めながら、「パパは4年経ってもサッカーボールのようなお腹周りは変わらないね！運動して痩せたら！」とツッコミを入れられ日頃の運動不足を反省する次第です。

さて、本特集の依頼を編集部から受けるにあたり、当初は秋本が研究部門長を務めるデータサイエンス医療研究部門（2022年4月発足）もしくはがん研究についての特集にするようにとの事でした。発足間もないデータサイエンス医療研究部門はまだ業績がその時点であり蓄積しておらず、かつ直前の2022年10月号に構成メンバーが重複するDX研究部門の特集もあり、がん研究についての特集にすることにしました。しかし、本学にはがん研究をご専門にしている先生が多く、誌面のページ数の都合もあり、どなたに執筆をお願いするかについて大変悩みました。

そこで、まずはがんの臨床・研究の大家であります落合生命医科学研究所所長に、最近の世界的ながん研究の潮流と今後の本学のがん研究の方向性について冒頭で解説をして頂くことにしました。さらに、データサイエンス医療研究部門からここ最近ウェットのがん研究の質の高い成果を出している昆先生と定家先生に執筆をお願い致しました。また、近年のがん研究の大きな流れの一つであるデータサイエンスから、数理モデルの波江野先生、情報論の佐藤先生と田畑先生に執筆をお願いし、データサイエンスとウェットの融合的な研究として、多森先生と大学院生の翁長さんに執筆をお願いしました。

結果的にデータサイエンス医療研究部門中心の執筆陣となりましたが、先に述べましたように本学の優秀ながん研究者を網羅的に紹介することは叶わず、その点が心残りです。しかしながら、最近のがん研究の潮流も踏まえ、多面的に本学の質の高いがん研究の一端を紹介することができたと思います。以上、本特集が読者の皆様の参考になればと祈念致しまして、この編集後記の筆を置きたいと思います。

〔秋本 和憲：薬学部〕

## 次号予告

### 特集：ロボット(仮)

- サステナブルな社会を実現するロボット・テクノロジー
- ロボット、AI、そして、アシスト技術のパラダイムシフト
- 障がい者の人たちの自由なモビリティを実現する福祉メカトロニクス
- 人の動きを再現するロボット
- 重篤事故に繋がる体育館床のささくれ傷検出口ロボット
- 究極の自動化を実現するためのロボット技術

## 編集委員会 編集委員

渡辺 一之	名誉教授
田所 誠	理学部第一部化学科
村上 秀俊	理学部第一部応用数学科
佐々木健夫	理学部第二部化学科
吉田 孝博	工学部電気工学科
後藤田 浩	工学部機械工学科
石塚 正基	理工学部物理学科
野口 健太	理工学部情報科学科
前澤 創	理工学部応用生物科学科
垣野 義典	理工学部建築学科
井出野 尚	経営学部経営学科
神野 潔	教養教育研究院 神楽坂キャンパス教養部



野田キャンパス 運河から望む朝日

**SCIENCE** 通巻 433 号  
**FORUM** 科学フォーラム (創刊 1984 年 7 月)

2023 年 2 月発行 / 第 40 巻 1 号

発行人 浜本 隆之 (学校法人 東京理科大学理事長)

編集人 渡辺 一之 (編集委員会 委員長)

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3

TEL : 03-3260-4271 (代)

<https://www.tus.ac.jp/about/information/publication/forum>



お問い合わせは、本学広報課をお願いします。

TEL : 03-5228-8107, FAX : 03-3260-5823

理大 科学フォーラム編集室 (担当: 亀山 亜土, 坂口 奈織美)

e-mail : [henshu@admin.tus.ac.jp](mailto:henshu@admin.tus.ac.jp)

落丁・乱丁本はお取替えいたします。

印刷・製本 精興社

禁無断転載